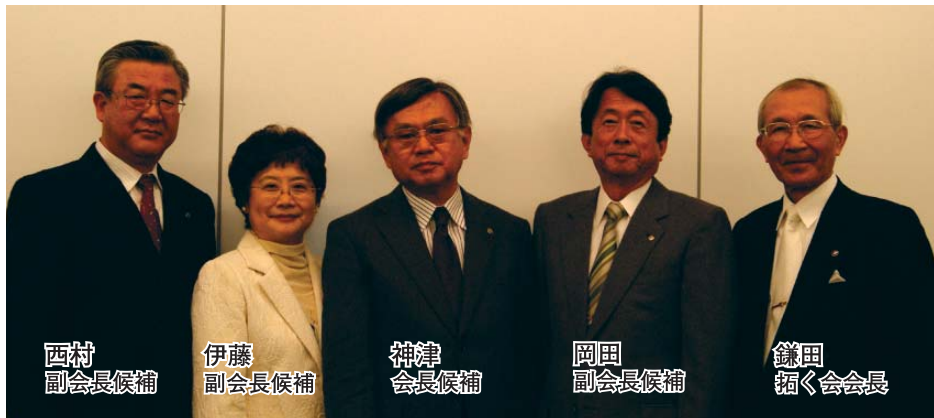


# 次期東京税理士会役員推薦候補者決定!



西村 副会長候補

伊藤 副会長候補

神津 会長候補

岡田 副会長候補

鎌田 拓く会会長

会長・副会長

推薦候補者全員のご紹介

# 拓く会通信

臨時号

平成22年11月5日

時代を拓く税理士の会

発行者 会長 鎌田俊夫

編集者 広報部長 山本恵子

事務局 Tel 03(3697)8301 Fax 03(3697)8524  
東京都葛飾区東四つ木四一三一六 足達信一税理士事務所

東京税理士会会長候補者



こうづ しんいち 神津 信一

（現東京税理士会副会長）  
四谷支部

神津 信一

会長候補者

副会長候補者（五十音順）

伊藤 佳江

（現東京税理士会理事）  
荻窪支部

岡田 光一郎

（現東京税理士会副会長）  
麴町支部

西村 新

（現東京税理士会常務理事）  
江戸川南支部

時代を拓く税理士の会は税理士の資格取得の経緯や専業や兼業にとらわれず税理士業界に貢献する目的で設立された団体です。

判所改革、共通番号制度導入）に積極的に関わります。

不服申立て制度、及び行政不服審査法の改正が提案されますが、国税通則法を租税基本法とする改正を提案します。法人税等の抜本改正には、国民経済と中小企業の発展の観点で対応します。

3、研修と倫理高揚の更なる充実に務めます

納税者の信頼性を担保するに、個々の会員が研鑽に務めるとともに、税理士としての倫理の矜持が求められます。受講義務法定化の準備段階として、本会は相応しい場を最大限に提供します。

4、電子申告と書面添付が常態となるよう務めます

「電子申告は便利だ」ということが普及のインセンティブであり原点です。税理士が署名した申告書には書面添付が当たり前となれば、税務行政も変わります。それぞれ100%目標とすべきですが、普及には様々な障害があるのでそれを取り除く施策を講じます。

5、税務支援事業、公益的業務、会計参与制度を拡大します

納税者支援センター事業とともに、本会独自の税務支援事業を進めます。開所した成年後見支援センター、及び、外部監査人制度、登録政治資金監査人制度の更なる充実を図ります。また、会計参与制度を促進するとともに、中小企業の会計基準の新たな進展に対応します。

6、広報室、会員相談室を充実させます

報道機関との連携、中小企業団体との絆を更に強固にし、「租税教育の主役は税理士」を浸透させます。会員相談室は税務事案自己解決サポートセンターです。税理士の業務から争訟問題まで含めて幅広く対応します。

7、東京税理士会の会務を刷新します

施策の立案、会務のスリム化と活性化、対外交渉、関連団体との連絡調整機能、及びシンクタンク機能を持つ特別委員会を設け会務の効率化を図ります。

8、日税連の主体を目指します

山川会長の路線を継承し、日税連に協調し、本会会員の積年の思い遂げるべくリーダーシップを発揮します。執行部一丸となって、議論と笑顔の絶えない東京税理士会とし、納税者・国民と会員の負託にこたえます。

## マニフェスト(2010/11)

1、税理士法改正に取組みます  
昭和26年、第1条に「税理士の職責」を掲げた税理士制度が制定され、55年の大改正では、使命を「納税義務者の信頼にこたえる」と改正し、税理士制度は国家と国民を支える制度と成熟しました。一方、現在の我が国は900兆円を超える負債を抱え、戦後未曾有の危機を迎え、税が最大のテーマとなつていきます。

資格取得を中心とする14項目の改正要望項目を議論し、揺るぎない制度として構築します。

2、公正・公平な租税制度確立のために、建議権を最大限に活用します

税理士が内閣府の職員として採用され、さらには政府税調専門委員会へも登用が行われるなど、税理士に対する国民の期待が高まってきました。納税環境整備（納税者権利憲章制定、国税不服審

東京税理士会副会長候補者

真に国民のために

役立つ視点での

税理士法改正を目指そう



伊藤 佳江

プロフィール

- ・所属支部 荻窪支部
- ・推薦団体 時代を拓く税理士の会
- ・生年月日 昭和28年生まれ
- ・略歴 明治大学商学部卒業

昭和52年 税理士試験合格

54年 税理士登録

東京税理士会制度部委員6期12年  
業務対策部委員2期4年  
平成13年東京税理士会荻窪支部副支  
部長2期4年

14年全国女性税理士連盟副会長

16年内閣府男女共同参画推進連携

会議全国女性税理士連盟より参加

17年東京税理士会常務理事2期4年

19年日本税理士会連合会理事

日本税理士会連合会業務対策部副部長

現職

東京税理士会理事 公益活動対策部担当  
東京税理士会成年後見支援センター相  
談員  
日本税理士会連合会公益活動対策部特  
命委員

日本成年後見法学会常任理事  
(社)成年後見センター・リーガルサポ  
ート監事

実績

平成17年新書面添付制度ハンドブック  
(東京税理士会、東京地方税理士会、千  
葉県税理士会)

平成18年税理士業務に関する損害賠償  
責任とその対応(日本税理士会連合会業  
務対策部)

平成21年税理士の専門家責任を実現す  
るための100の提案(日本税理士会連  
合会)等の企画作成に携わる

主張

平成23年の税理士法改正に向けて論議  
がかわされておりますが、税理士とい  
う存在が真に国民生活の上で重要な位置を  
占めていることを今一度確認しましょう。  
税理士の存在が我が国の経済発展に大  
きな貢献をしたことは言うまでもありま  
せん。中小企業は世代交代に生き残りを  
かけていますし、公認会計士や弁護士も  
規制改革の流れの中でその存在を掛けて  
変わろうとしています。

我が税理士界もその職能を国民のため  
に役立つ資格としてひろくアピールすべ  
きだと思います。

そのためには、税理士制度を守るだけ  
なく研修の充実や証票の更新、資格取得  
制度の整備、他士業との連携、公益的活  
動への参加、事務所の継承問題等に積極  
的に取り組む必要があります。

会員の皆様やこれから税理士を目指す  
方々のために私は会長を補佐し東京税理  
士会の会務に邁進いたします。

そうすることが私を育てて下さった税理  
士界への恩返しだと思います。ご支援を  
心よりお願い申し上げます。

東京税理士会副会長候補者

見ます、

聞きます、

申します



岡田光一郎

プロフィール

- ・所属支部 麹町支部
- ・推薦団体 時代を拓く税理士の会
- ・千代田会
- ・うさぎの会

生年月日 昭和26年2月5日

略歴

昭和48年 成蹊大学工学部卒業

58年 第33回税理士試験合格

59年 税理士登録52956番

平成11年 麹町支部支部長3期

17年 東京税理士会常務理事

日本税理士会連合会理事

現職

東京税理士会副会長  
登録調査委員会委員長  
日本税理士会連合会理事  
登録調査部副部長

主張

この度の東京税理士会役員選挙に際  
し、前回に引続き『時代を拓く税理士  
の会』からのご推薦をいただき副会長  
候補として立候補することとなりました  
。会員の皆様方の暖かいお気持ちに  
心より感謝申し上げます。

長い経済不況が続く中、我々税理士  
が納税者に対しどうあるべきかが問わ  
れております。資格取得制度の改正を  
初めとし、国民の目線に立ち・国民か  
ら信頼される税理士制度の確立が最優  
先の課題であります。そのためには税  
理士会が一枚岩となり、税政連と協調  
して税理士法改正を実現させなければ  
なりません。次世代の税理士が、税理  
士になって良かったと思える税理士業  
会にしていくことが、今の我々のすべ  
きことであると考えます。

私は参加型会務をより推進いたしま  
す。会員に呼び掛けて待つのではなく、  
自分の方から会員の方へ出向き意見交  
換をしていくことをお約束いたします。  
山川執行部の副会長としての経験を  
生かし、2期目の東京会副会長として  
会長をしっかり補佐して参る所存で  
ございますので、会員の皆様のよりい  
っそうの御支援・御協力のほど心より  
お願い申し上げます。

東京税理士会副会長候補者

独自事業（税務支援）の

充実で税理士制度の発展を



あらたむらにし  
新 村 西

日本税理士会連合会理事  
日税連税務支援対策部副部長  
税理士四国会副会長

主張

独自事業（税務支援）の充実で税理士制度の発展を

税務支援における本来的な社会貢献の形である独自事業の充実を通じて、税理士の社会公共的使命を果たし社会に貢献することが税理士制度を維持発展させることに繋がることを全会員が認識して積極的に行動し参加することを提言します。税理士を取り巻く環境は規制改革のなか、大きく様変わりしています。国民から信頼される税理士制度となるように、電子申告等の送信業務を税務代理に含める、補助税理士制度、資格取得の規定等々の税理士法改正に取り組みます。

今、自分たちが税理士としてあるのは、税理士制度を充実発展させた先輩たちの努力の賜物です。税理士会は会員のためにあり、役員は会員のために会務を努めるのは当然のことですが、会員一人ひとりもこれから続く次世代の後輩達のために税理士会の会務に積極的に参加し、会員全員で税理士制度を維持発展させよう。

プロフィール

- ・所属支部 江戸川南支部
- ・推薦団体 時代を拓く税理士の会 税理士四国会

第7ブロック西村新を推す有志の会

・生年月日 昭和27年12月26日高知県生まれ

略歴

- 昭和50年 明治大学経営学部卒業
- 昭和57年 第32回税理士試験合格
- 昭和58年 税理士登録
- 平成7年 江戸川南支部副支部長3期
- 平成13年 江戸川南支部支部長3期
- 平成19年 東京税理士会常務理事
- 日本税理士会連合会理事

現職

東京税理士会常務理事税務支援対策部長  
東京税理士会規制改革等対策室委員

スロージョー

さらなる進化を期して、拓きます 確かな税理士会

- 会員の声を反映させる東京税理士会をめざし、参加型会務をすすめます
- 国民のための税理士制度を目指し、更なる税理士法改正に取り組みます
- 会員研修及び会員相談業務等の整備を図り、会員サービスを充実します
- 租税制度及び税務行政の改善のために研究、提言及び建議を行ないます
- 中小企業の活性化のために税制、金融及び経営等の改善策を促進します
- 税理士の職能を活かし、公益的活動を通して社会貢献事業を推進します
- 東京税理士会の総力を結集し、日税連の民主的な会務運営を確立します

# 『支援対策会議経過説明』

①「拓く会」における会務運営は、「当会設立の経緯」及び「会則」の趣旨を鑑み、一部の役員のみによる執行を戒め、「忌憚の無い意見交換により論議を深め、その中から適格な人材による税理士会づくり（設立の経緯より抜粋）」をその基本理念としている。

②当然の事として、東京税理士会役員選挙における候補者推薦についてもその理念は同様であり、本年5月には平山玲晁顧問を議長とする「第1回支援対策会議」を立上げると共に、平成22年度東京税理士会役員選挙に向けた準備を始めた。以後、会則に基づく「支援対策委員」の選定、及び、当会としての「会長・副会長候補者推薦基準」の見直しに着手した。

③各支部に対し、「東京税理士会会長・副会長候補者」の推薦依頼を行った結果、会長候補者1名、副会長候補者6名の推薦を受け、これ等候補者と慎重なる協議の末、会長候補者1名、副会長候補者5名が立候補意思を表明した。

④8月開催の「第4回支援対策会議」に於いて、副会長候補者推薦決定方法に付き、議長より以下の趣旨の提案が為された。即ち、「候補者全員の当選を目指す以上、過去の投票結果分析により当会としては3名の候補者擁立が妥当であるが、もし執行部内の判断のみに委任された場合には会としての「透明性の確保」が保てない」とされた。

その為、これ等の要件を充足する具体的な手法として、各候補者から直接「意見表明」をしてもらい、それに対して「質疑応答」を行う「候補者意見表明会」を開催する事により、支援対策会議構成員に広く各候補者の立候補主旨を理解して

貰った上、3名の副会長候補者決定方法については、執行部において調整判断する旨の提案が賛成多数により承認された。

⑤この決定を受け、9月に「候補者意見表明会」を開催したところ、各候補予定者とも将来の税理士会を背負うに足る、十分な資質と情熱を有すると推察された。

これは、当会がその基本理念に沿った目的の遂行の為、多数の優秀なる人材を有していることの証であり、この状況下において推薦を見送るべき2名の該当は無く、また、その理由も見当たらない。

⑥そこで、選考方法については選対本部役員を招集し、拓く会設立の原点に立ち返り「透明性の確保」を第一義として、十分な討議を重ねた結果、5名の副会長立候補予定者について再度の意思確認を行ない、その結果においてもなお4名以上が立候補意思を有する場合には、支援対策会議構成員全員による公正なる選考をすべきと結論付けた。

⑦5名の立候補予定者に対し、書面にて「公正なる選考方法による推薦決定」を前提とした立候補意思に付き、再確認を行なった結果、全員が立候補意思を表明した事を受け、10月に「候補者選考会」を開催した。

その際、議長より支援対策会議構成員全員に対し、「選考に当たり再度の意思確認を経た以上、選考結果に付きいかなる理由においても遺恨を持つこと無き様、厳に申し入れる」と共に、「選考決定後においても当会の一員として東京会選挙戦における協力」を依頼した。

また、「選考要領を遵守し、高潔なる品格をもって、公正な選考を行なうよう努め、当会全会員を代表する「責任のある立場」での選考」、及び、「東京税理士会副会長立候補予定者は、単に支部又は地域の代表ではなく、東京会のみならず

広く日税連会務を見据えた視点を持つ人材である事を基準とした選考」が要望された結果、3名の東京税理士会副会長立候補予定者が選出され、全会一致をもって可決承認された。

## 各候補予定者「励ます会」日程

- ①西村 新  
11月11日(木) 19:00  
船堀タワーホール
- ②神津 信一  
11月18日(木) 18:00  
京王プラザホテル 錦の間
- ③伊藤 佳江  
11月22日(月) 18:00  
中野サンプラザ
- ④岡田 光一郎  
11月26日(金) 18:00  
九段会館 鳳凰の間

## 『拓く会』の動き

- ① 平成22年10月13日  
『第6回支援対策会議候補者選考会』
- ② 平成22年11月1日  
『第1回常任役員会』
- ・ 選対本部事務所開設の件
- ・ 平成22年度東京会役員選挙の件
- ・ 各候補者選対組織について
- ・ 研修会開催について
- ・ ゴルフ大会開催について
- ・ 各部報告

## 忘年会のお知らせ

日時 平成22年12月13日(月)  
午後 6時30分～8時30分  
場所 京王プラザホテル 南館4F 錦の間  
会費 1万円  
お誘いあわせの上、多数のご参加をお待ちしています。

拓く会ホームページ <http://hirakukai.jimdo.com/>

### 入会案内

『拓く会』では新たな会員を募集しています。  
またご紹介もお願いします。

- ・ 『拓く会』の年会費は3,000円です。
  - ・ 郵便振替口座 口座番号 00130-0-648373  
口座名義 時代を拓く税理士の会
  - ・ 普通預金口座 三井住友銀行 新橋支店  
口座番号 2008373
- 「口座名義」上記と同じ 税理士登録番号記入のこと  
(右記の入会申込書を御記入のうえ Fax03-3220-2468  
にて本橋財務部長宛までお願いします)

### 「時代を拓く税理士の会」入会申込書

平成 22 年 月 日

事務所所在地 \_\_\_\_\_

支部名 \_\_\_\_\_ 登録番号 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

電話 \_\_\_\_\_ (必須) FAX \_\_\_\_\_

E-mail \_\_\_\_\_